

中野四丁目西地区のまちづくりについて

中野四丁目西地区（中野四丁目新北口西エリア）については、区域内地権者有志により平成29年（2017年）3月29日に市街地再開発準備組合が設立された。現在、準備組合が主体となりまちづくりの推進に向けて、事業計画の検討や、地権者の合意形成活動を進めているため、現在のまちづくりの状況について報告する。

今後、区は「中野四丁目新北口地区まちづくり方針」（平成30年3月策定）に基づき、当地区での第一種市街地再開発事業の実施に向けて準備組合の活動を支援していく。

1 これまでのまちづくり経緯

- 平成29年3月 【準備組合】市街地再開発準備組合設立
- 平成29年～ 【準備組合】合意形成に向けた活動
- 令和2年 9月 【準備組合】臨時総会にて、市街地再開発事業の推進を決議（その後、推進議決無効等について提訴されたが、令和5年3月の最高裁にて棄却）
- 令和3年 【中野区】まちづくりの合意状況を踏まえ区は都市計画手続きを見合わせ
- 令和5年～ 【準備組合】準備組合が都市計画決定に向けて関係機関調整

2 まちづくりの合意形成について

現在、準備組合が地区内権利者に対し市街地再開発事業について説明会や個別訪問などを通じて、まちづくりの合意形成活動を行っている。

（現在の合意率：約6割（地権者数39件））

今後、区は準備組合と市街地再開発事業や都市計画内容等について調整を行うとともに、東京都との協議を進め、まちづくりの合意形成状況や都市計画の内容等総合的に判断し、まちづくりを進める。

3 今後のスケジュール

令和8年度以降 都市計画手続き（東京都、中野区）